



2022年2月16日

各位

株式会社クシム
代表取締役社長 中川博貴
(証券コード:2345)東証第二部
(お問い合わせ先)取締役CFO 伊藤大介
電話03-6427-7380

連結子会社が保有する債権の株式化（デット・エクイティ・スワップ）に関するお知らせ

当社は、当社の連結子会社である株式会社イーフロンティア（以下、「イーフロンティア」といいます。）及び株式会社ケア・ダイナミクス（以下、「ケア・ダイナミクス」といいます。）が保有する債権の株式化（デット・エクイティ・スワップ）（以下、「DES」といいます。）を行う方針について決議いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本件 DES の概要

当社の連結子会社であるイーフロンティア及びケア・ダイナミクスは、2022年2月16日現在、株式会社ネクスグループ（以下「ネクスグループ」といいます。）に対する長期貸付金 285,000,000 円（以下、「本件債権」といいます。）を有しており、その全額について、ネクスグループが新たに発行する株式を当社の連結子会社に割り当てるものであります。なお、本件 DES の引受については、当社の連結子会社を含め、株式会社フィスコ（以下、「フィスコ」といいます。）、株式会社スケブベンチャーズ（以下、「スケブベンチャーズ」といいます。）、の4社（「DES 引受各社」といいます。）が引受先となる予定です。

(1) DES の概要

(1)発行新株式	株式会社ネクスグループ 普通株式 6,423,723 株
(2)発行価額	1株当たり 159 円 本件 DES に係るネクスグループの取締役会決議日の直前営業日（2022年2月14日）の東京証券取引所 JASDAQ 市場における同社の普通株式の終値
(3)発行価額の総額	1,021,371,957 円 (DES 引受各社がネクスグループに対して有する債権を現物出資)
(4)発行又は割当方法	第三者割当による
(5)資本組入額	資本金 510 百万円 資本準備金 510 百万円
(6)払込期日	2022年3月23日（予定）
(7)出資の目的とする財産の内容及び価額	出資の目的とする財産は、DES 引受各社がネクスグループに対する以下の債権 ・フィスコが有する売掛債権 26,372,217 円

	<ul style="list-style-type: none"> ・スケブベンチャーズが有する貸付金債権及び投資有価証券残高合計 709,999,872 円 ・イーフロンティアが有する貸付金債権残高合計 224,999,946 円 ・ケア・ダイナミクスが有する貸付金債権残高合計 59,999,922 円 	
(8) 割当先及び株式数	フィスコ 165,863 株 スケブベンチャーズ 4,465,408 株 イーフロンティア 1,415,094 株 ケア・ダイナミクス 377,358 株	
(8) 増資後の発行済株式総数	27,301,871 株	
(9) 取得後の保有株式数及び議決権比率	フィスコ 2,376,663 株 (8.75%) スケブベンチャーズ 4,465,408 株 (16.43%) イーフロンティア 1,415,094 株 (5.21%) ケア・ダイナミクス 377,358 株 (1.39%)	

2. 本件 DES の経緯・目的

当社は、2020年6月3日付「クシム、ネクスグループと AI エンジンの開発分野での提携強化」にて公表しました通り、ネクスグループとの業務提携関係を深めると同時にネクスグループ株式を取得し、それ以降協業関係を有しております。

ネクスグループは、2021年11月30日付「当社事業における構造改革の実施のお知らせ」にて公表された通り、同社の経営課題の早期解決に向けた取り組みの推進、及び、経営資源の選択と集中を目的として次の対策を実施するとしており、具体的には、①早期の業績回復が見込めないインターネット旅行事業、②ブランドリテールプラットフォーム事業からの撤退、③早期黒字化に向けた既存事業の立て直し、④中核事業の拡大および新規事業等による業績拡大、であります。さらに、同社は、財務基盤の安定化を図り、事業構造改革を推進するために有利子負債等の圧縮についての方法を模索する中で、当社の連結子会社が保有する貸付金債権を対象にした DES による資本強化を行い、財務基盤の安定化を図ることで、本構造改革を確実に実施して参りたい旨の説明が当社に対して行われました。

当社は、同社の構造改革の内容及び今後の経営方針に関する説明を受け、ネクスグループの DES による資本強化の要請に対して、貸付金債権のまま残存させるか、DES の要請に応じるかについて、当社にもたらす利益を比較検討いたしました。その結果、貸付金債権として残存させることによる回収金額に比べて、構造改革による財務基盤の安定が実現した場合のネクスグループ株式の株価上昇を背景としたキャピタル・ゲインは当社にとってより大きな利益をもたらすこと、および、貸付債権を流動性の高い上場株式として保有することについて、一定の合理性が認められると判断いたしました。

当社のネクスグループ株式に対する保有方針としては、経営権の獲得を目的としておらず純投資目的となり、ネクスグループの株式価格が上昇し、株式を売却することにより、当社の特別利益の増加および純資産の増加や対外的な信用力の上昇に繋がり、ひいては当社の企業価値の上昇に繋がると考えております。

本件 DES により、当社グループ全体の保有割合は増加し、引き続きネクスグループとの協業体制を含めた関係性は継続する予定であり、当社がネクスグループ株式を売却する際には、市場の動向及びネクスグループ株主に与える影響を十分に考慮した上で、その影響がなるべく小さい方法を選択する予定であります。

3. 当該会社の状況

(2021年11月30日現在)

名称	株式会社ネクスグループ
本店の所在地	岩手県花巻市柵ノ目第2地割32番地1
代表者の役職及び氏名	代表取締役 石原 直樹
資本金	10百万円
設立年月日	1984年4月21日
事業の内容	グループ企業の経営戦略策定及び経営管理 農業 ICT の企画、開発、販売 上記に附帯または関連する事業

大株主及び持株比率	投資事業有限責任組合デジタルアセットファンド 16.19% 株式会社フィスコ 14.83% 株式会社實業之日本社 11.42%	
上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社はネクスグループの株式の4.72%を保有しております。
	人的関係	該当事項なし
	取引関係	当社はネクスグループと業務提携をしております。

4. 今後の見通し

本件 DES による 2022 年 10 月期の当社連結業績に与える影響は軽微であります。開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上